

# 新しい生活様式におけるICTを活用した 人とまちのつながりネットワーク 構築連携協定について



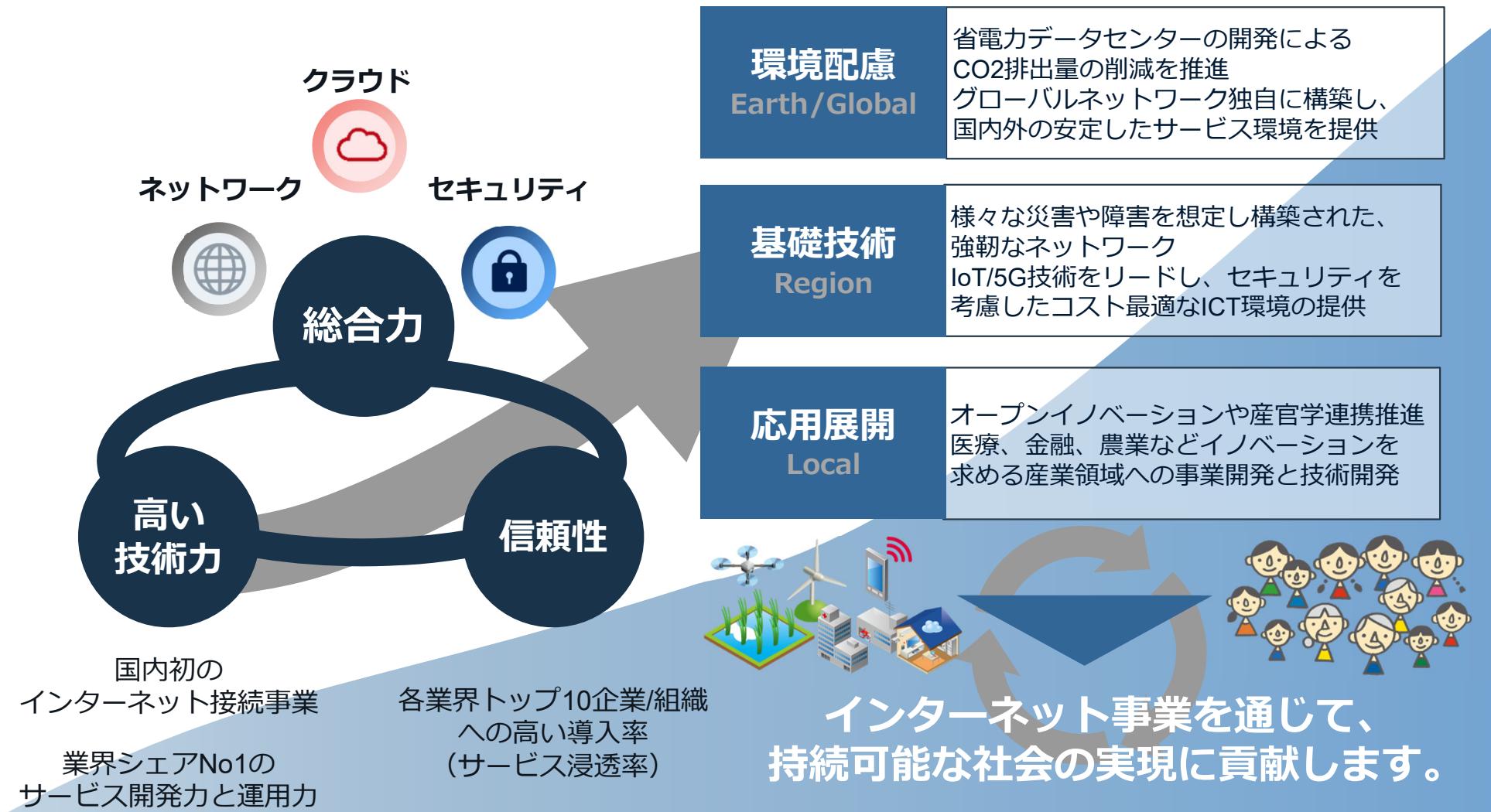
令和2年9月24日

瀬戸旭医師会・瀬戸市  
株式会社インターネットイニシアティブ

# 【会社紹介】株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ）

インターネットを真の社会インフラに。  
ネットワークの持つ巨大な可能性を切り拓きます。

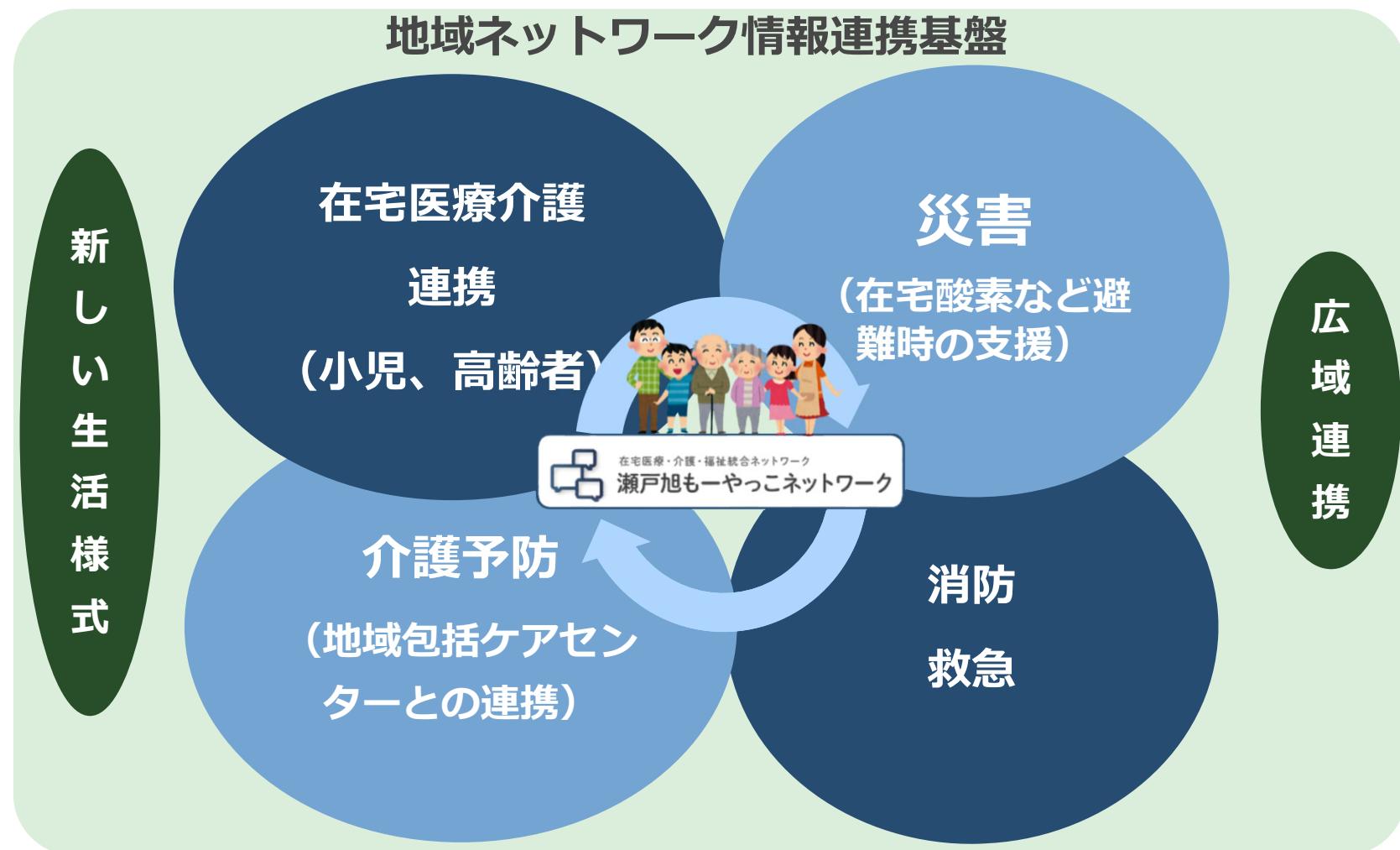
## IIJの強みと持続可能な取り組み



# 「地域ネットワーク情報連携基盤」構築

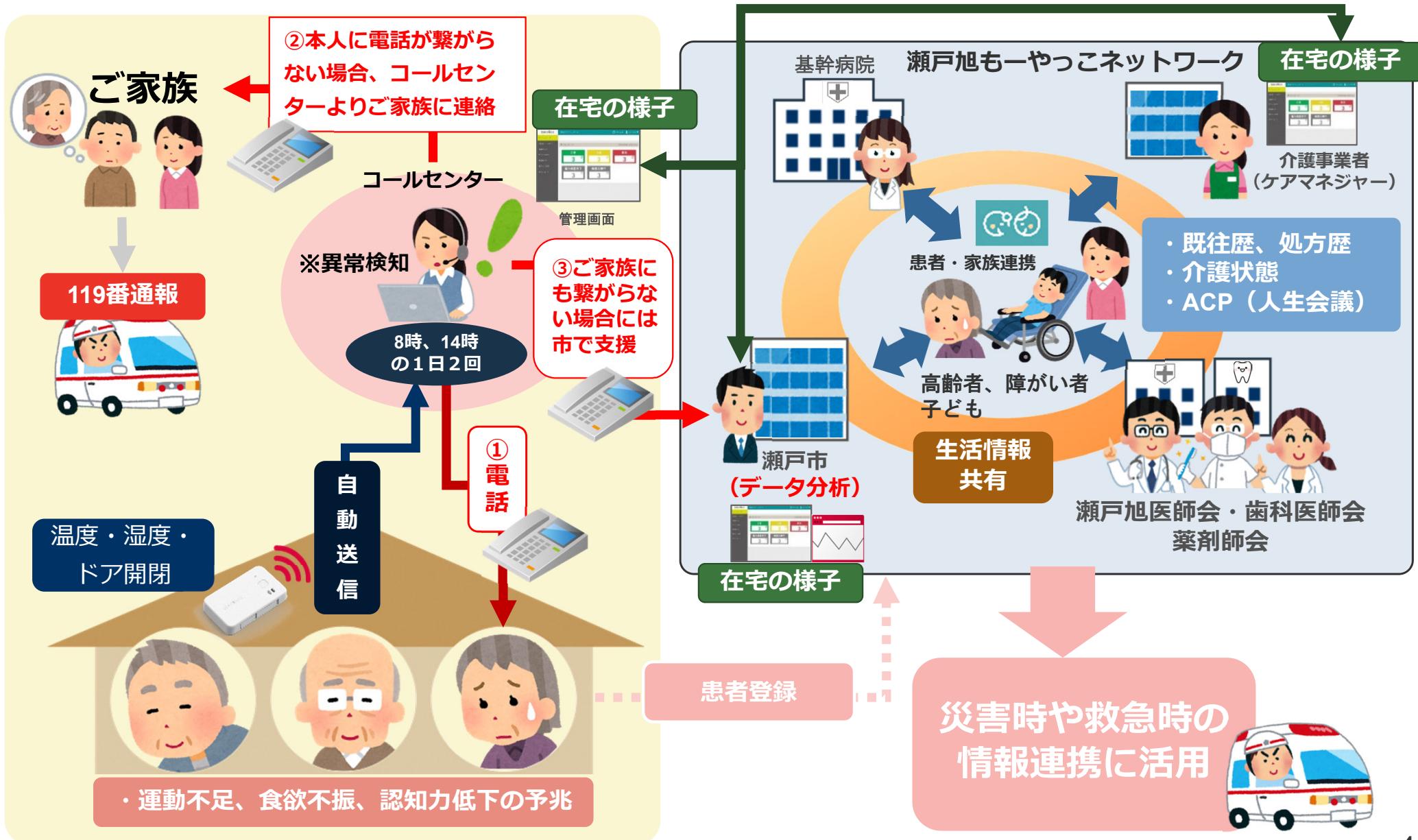


ICTを活用して「自助・共助・公助」に関する、人とまちの情報を「もーやっこネットワーク」に統合し、「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち」を目指します。



# 生活情報を連携した「在宅医療介護連携事業」の推進

## 「高齢者サポート」と「瀬戸旭もーやっこネットワーク」との連携



# 瀬戸市「もやっこサポート」事業

## ひとり暮らし高齢者宅

「もやっこ  
サポート」  
加入で安心



(瀬戸市外)



温度・湿度・ドア開閉

月額・税込  
**980円**

もやっこ  
サポート



センター提供：合同会社ネコリコ  
合同会社ネコリコは、中部電力とIIJの合併会社です。

## 設置場所（冷蔵庫）



## 安否確認・健康寿命延伸

コールセンター



地域包括支援センター



管理画面  
(ダッシュボード)



管理画面

- ・生活状況の把握
- ・支援の必要性の把握



月曜日 時間帯別

ドア開閉回数

生活情報データ分析  
(瀬戸市、IIJ)

水曜日

火曜日 時間帯別

間帯別



# 【参考】ステータス一覧画面

**necolico**

もーやっこサポート

お知らせ 高齢者見守りシステム管理者

ダッシュボード

対象者ステータス

対象者管理

デバイス管理

対象者ステータス一覧

すべて 対象者名 検索 10件

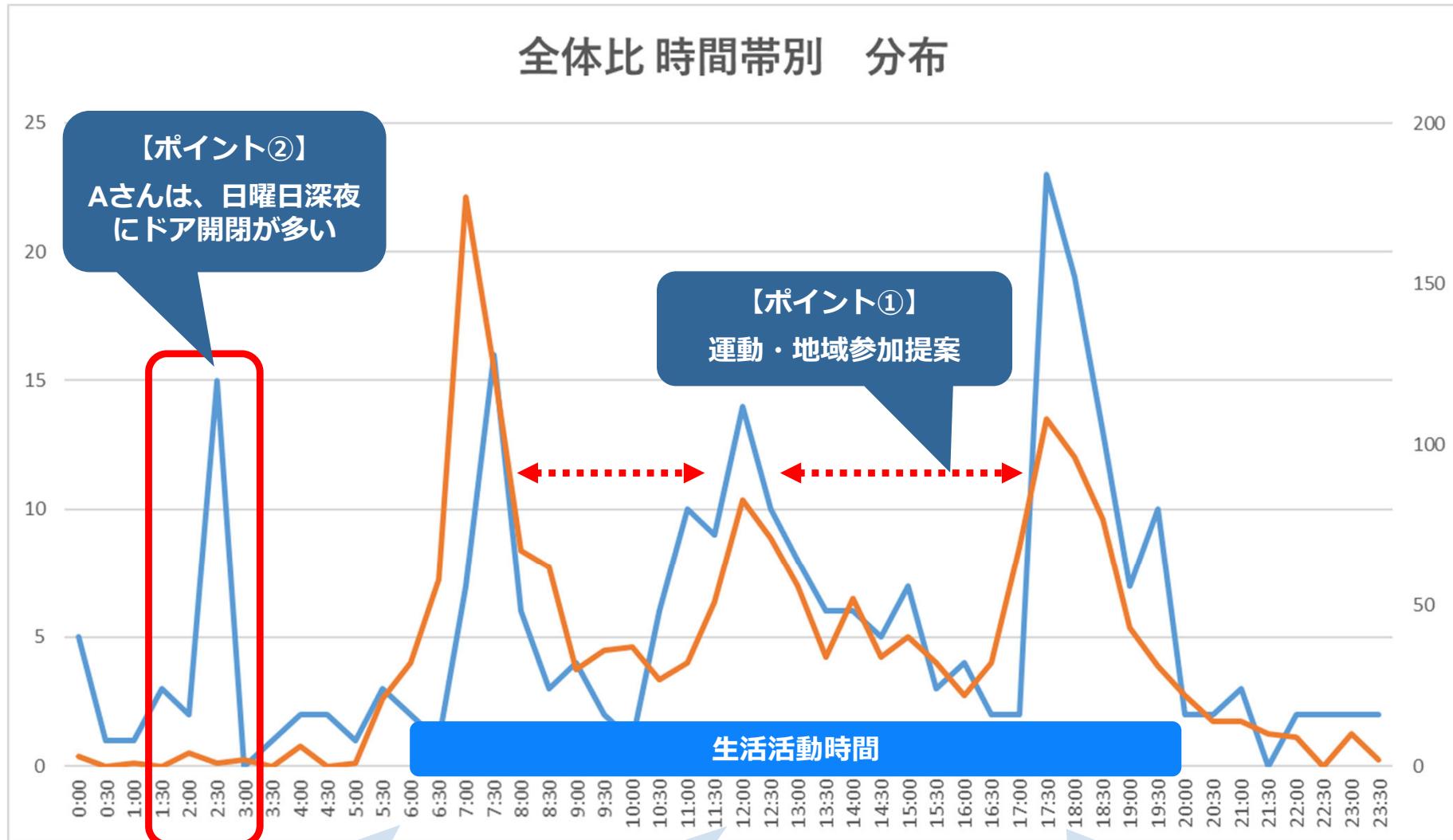
ステータス	対象者ID	対象者名	経過時間	グループ	検知履歴	対応状況
X 異常	2	Aさん	148時間50分	はたやま地域包括支援センタ ー	① ②	未対応
△ 注意	18	Bさん	35時間30分	地域包括支援センター中央東	① ②	
△ 注意	19	Cさん	27時間9分	地域包括支援センター中央東	① ②	
✓ 正常	15	Dさん	22時間45分	地域包括支援センター中央東	① ②	
✓ 正常	27	Eさん	22時間33分	やすらぎ地域包括支援センタ ー	① ②	
✓ 正常	7	Fさん	20時間55分	LSA (シルバーハウ징)	① ②	
✓ 正常	14	Gさん	20時間34分	地域包括支援センター中央東	① ②	
✓ 正常	1	Hさん	19時間0分	はたやま地域包括支援センタ ー	① ②	
✓ 正常	26	Iさん	12時間22分	やすらぎ地域包括支援センタ ー	① ②	
✓ 正常	6	Jさん	11時間56分	LSA (シルバーハウ징)	① ②	

1

# 「みまもりセンサー」から得られた情報のデータ分析例①

## 対象者Aさんと全体（30世帯）の冷蔵庫ドア開閉を比較

※青色：対象者Aさん（目盛り左）、オレンジ色：30世帯合計（目盛り右）



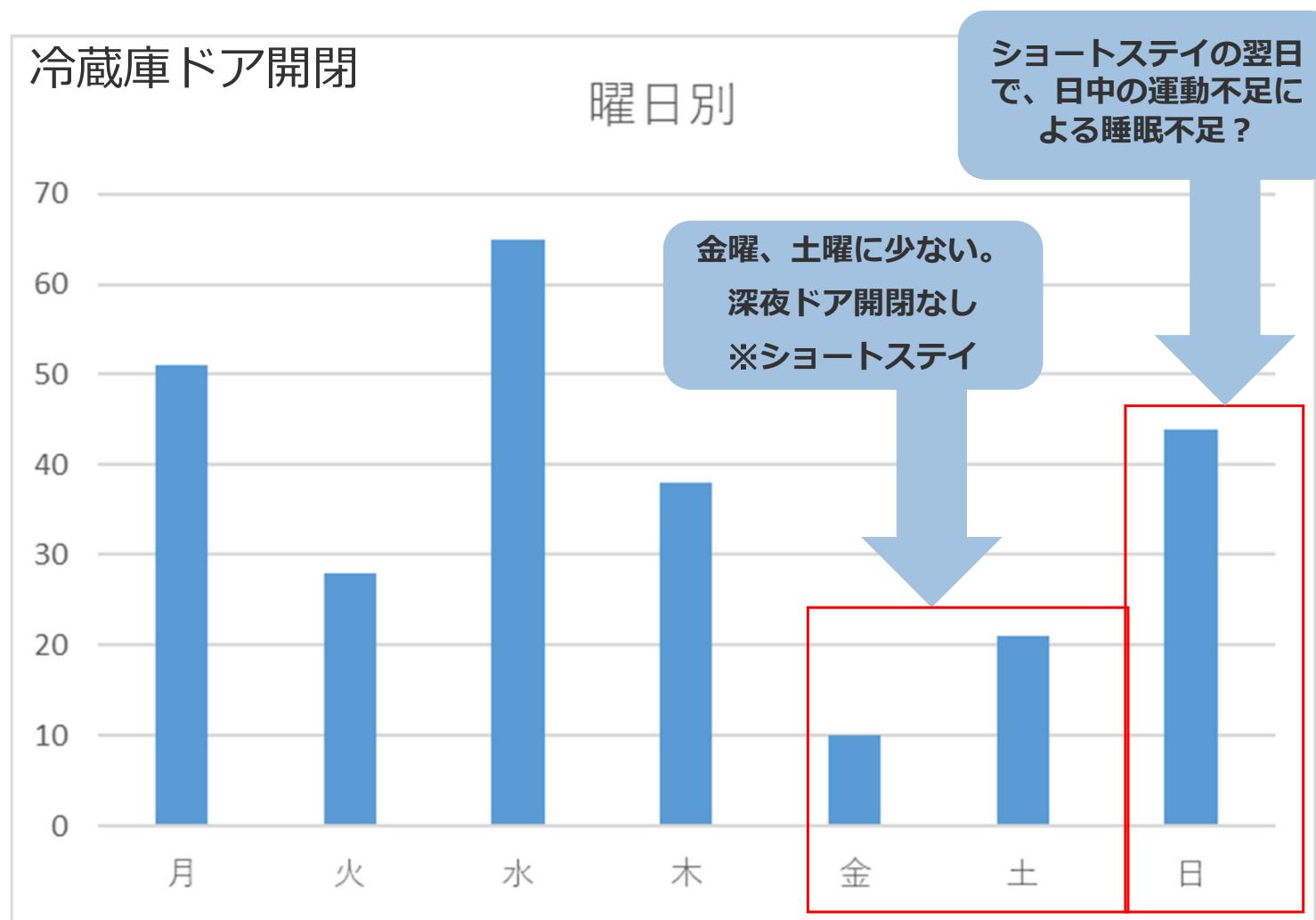
全体傾向として朝は6:30から7:30

昼は12:00

夕方は17:00から18:00

# 「みまもりセンサー」から得られた情報のデータ分析例②

曜日	回数
月	51
火	28
水	65
木	38
金	10
土	21
日	44



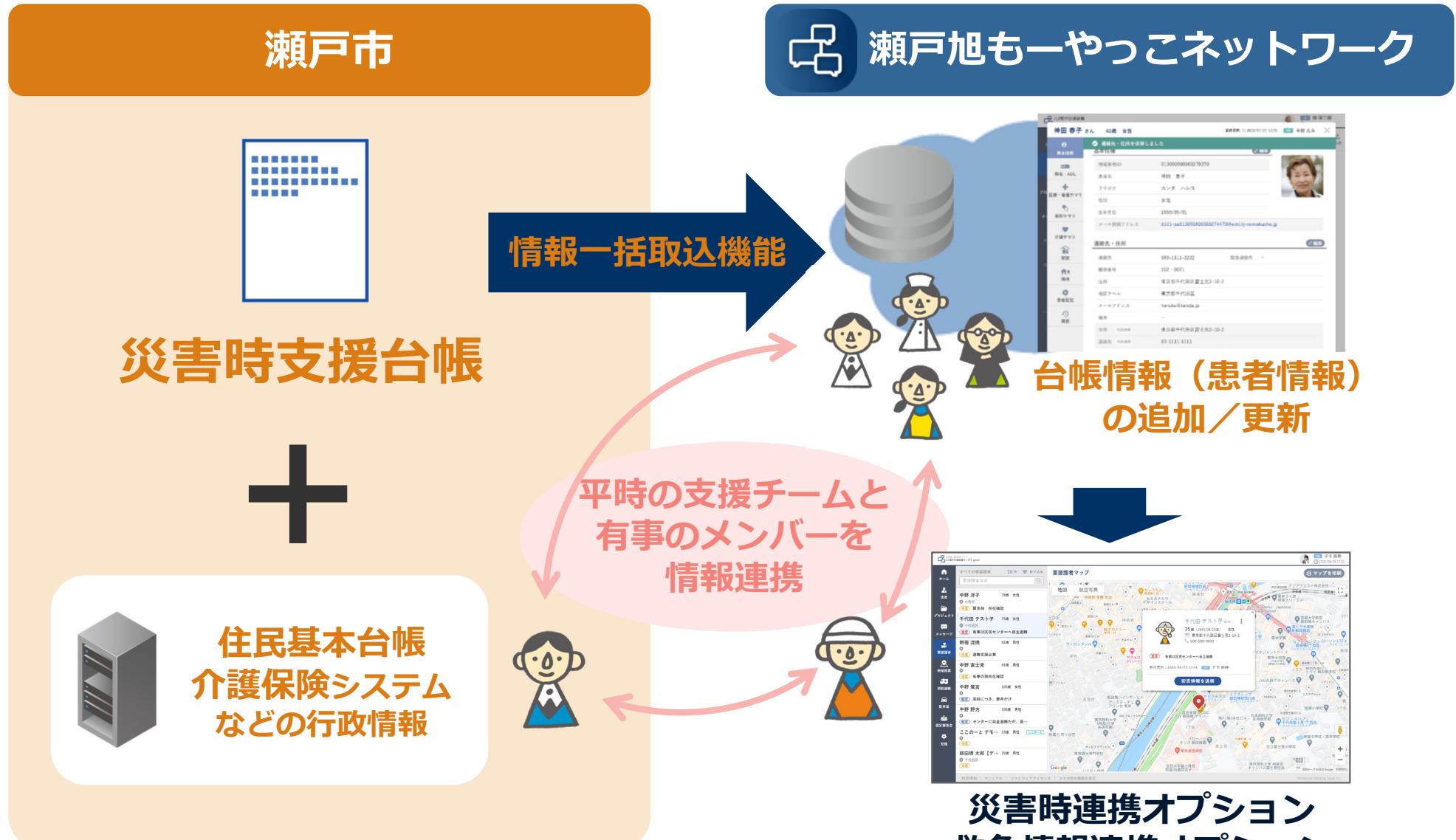
## ● 健康寿命の延伸

- ・ 「日曜昼間の運動量不足」が夜の睡眠不足につながっていないか。
- ・ 「医師の問診」で睡眠不足を処方箋で解決していないか。

# 災害（要支援者）・救急情報連携



災害時支援台帳（障がい者や在宅酸素など避難時に支援が必要な市民情報を含む）を「瀬戸旭も一やっこネットワーク」と連携。



# 災害時の情報活用モデル



平時から災害発生前後を含めた地域の情報共有を一元対応



# 「要援護者一覧」画面①

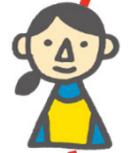


- ・要援護者をGoogleMap上に地図表示します。
- ・「新しい生活様式」で、「在宅避難」が増加する。

訪問看護師



介護スタッフ



ケアマネ



The screenshot shows a dashboard for managing care recipients. On the left, a sidebar lists various roles and their icons: 訪問看護師 (Home Care Nurse), 患者 (Patient), プロジェクト (Project), メッセージ (Message), 要援護者 (Care Recipient), 地域資源 (Local Resources), 消防連携 (Fire Department Collaboration), 駐車場 (Parking), 認定審査会 (Certification Review Committee), and 管理 (Management). The main area displays a map titled '要援護者マップ' (Care Recipient Map) with several location markers. A callout box for '千代田 テスト子さん' (Chiyoda Testo-san) provides details: 75歳 (75 years old), 生年 (Year of Birth): 1945/08/15, 性別 (Gender): 女性 (Female), 所在地 (Address): 東京都千代田区富士見2-10-2, and 電話番号 (Phone Number): 000-000-0000. Below the map is a button labeled '安否情報を送信' (Send Safety Status Information). To the right of the map, there is a header with the user's name 'Dr. デモ 医師' (Dr. Demo Doctor) and the date '2020/08/26 05:28'. The bottom of the screen features a footer with the copyright notice '© Internet Initiative Japan Inc.'.

地図上で援護者を表示し、  
行政・医療介護職で安否確認

行政担当者



医師  
薬剤師  
歯科医師



赤・青・黄の3色のラベルを  
設定可能

# 「要援護者一覧」画面②



個別の避難状況を行政含め多職種に連携

共有

訪問看護師



介護スタッフ



ケアマネ

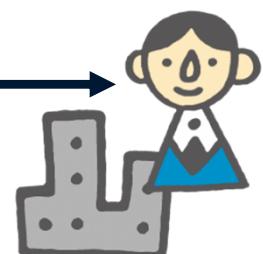


The screenshot shows the 'Caregiver List' interface. On the left sidebar, there are icons for Home, Patient, Project, Message, Caregiver, Regional Resources, Fire Department, Parking, and Settings. The main area displays a map of a residential area with several locations marked. A modal window is open, titled 'Send Safety Information for [Name]'. It contains a text input field with placeholder text 'Enter subject (maximum 100 characters)' and a note below it: 'Enter safety information. Example: 2019/12/13 15:53 confirmed避難 to Hachioji Elementary School Gymnasium'. Below the input field is a button labeled 'Important' with a checkmark icon. At the bottom right of the modal is a large blue button labeled 'Send Safety Information'. The top right of the screen shows a user profile and the date and time: 'Dr. Nambu Toshiro 2019/10/09 10:52'.

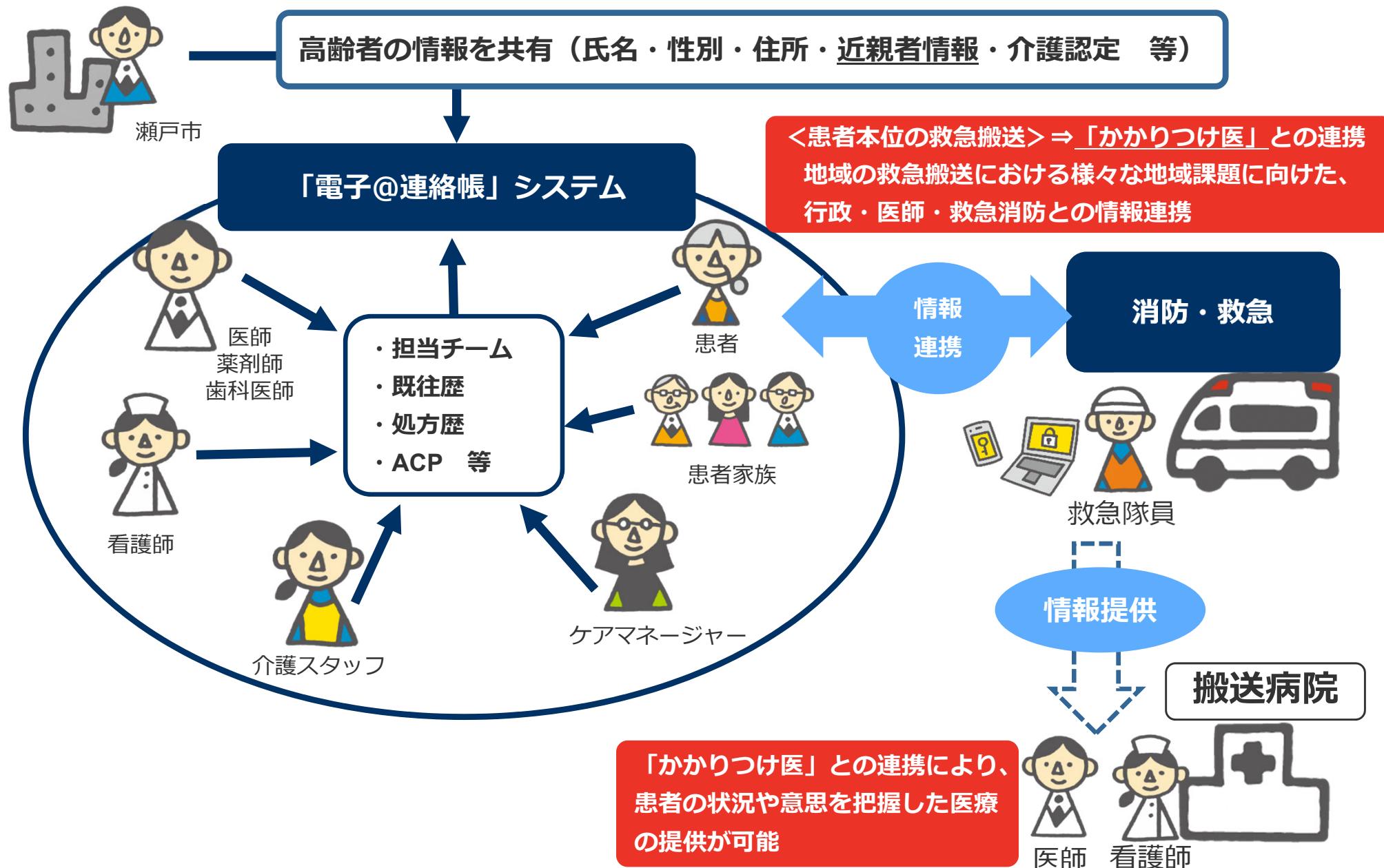
報告

行政担当者  
<安否確認を投稿>  
ケアチーム内で安否情報を共有と  
行政への報告

行政担当者



# 消防救急システム連携



# ここの一と(患者・家族連携)小児在宅療育連携



「ここの一と」は患者・家族が在宅での「くらしの記録」を参考情報として、専門職に連携することにより、在宅療養生活の支援を行うネットワークシステムです。

## 本人（患者）/家族



患者家族



患者(本人)

## 多職種支援チーム



システム連携

「くらしの記録」を共有



医師  
看護師  
デイケア職員  
養護学校



薬剤師



訪問介護員  
ケアマネージャー



救急隊員

# 新しい生活様式におけるICTを活用した 人とまちのつながりネットワーク構築連携協定について

地域課題

新しい生活様式

地域社会との  
つながり

災害時の安否確認  
救急連携



～誰もがつながりあって安心して暮らせるまち～  
「自助・共助・公助」情報の統合

地域包括ケアシステムの構築

ICT  
活用

連携

- 1) 在宅医療介護連携「もーやっこネットワーク」構築※→ 平成25年4月から実施済み
  - 2) みまもりセンターを利用した高齢者サポート実証 → 令和元年に実証
- 【今後の事業展開】
- 3) 新しい生活様式における人とまちのつながり（電子@連絡帳+みまもりセンター）
  - 4) 災害発生時に避難支援を必要とする住民の事前確認と支援 → 令和2年度～
  - 5) 「消防救急システム連携」による近親者や「かかりつけ医」との情報連携

※瀬戸市、尾張旭市の医師・看護師・介護関係者など約750名が活用。在宅医療を必要する患者1,500名のICT情報連携システムとして日常的に利用されている。

株式会社インターネットニシアティブ

強み

- 1) ICTを活用した在宅医療介護連携（小児含む）構築と活用事例の提供
- 2) ICTを活用した市民と地域社会のつながり事業の立案と事例提供
- 3) 生活情報を活用したデータ分析による介護予防対策事例の提供
- 4) 災害時・救急連携システムと人生会議（ACP）情報のICT活用との連携基盤の提供



在宅医療・福祉総合ネットワーク  
IIJ電子@連絡帳 サービス

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示しておりません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。